



平成21年4月22日

各位

会社名 株式会社第三銀行  
 代表者名 取締役頭取 伊藤 準一  
 (コード番号 8529 東証・名証第1部)  
 問合せ先 取締役総合企画部長 岩間 弘  
 (TEL. 0598 - 23 - 1111 )

**平成21年3月期第4四半期の有価証券評価損及び  
 平成21年3月期通期業績予想の修正並びに期末配当予想の修正に関するお知らせ**

「その他有価証券」に区分される保有有価証券のうち、時価が著しく下落し、その回復があると認められないものについて、平成21年3月期第4四半期において減損処理による有価証券評価損を計上する必要が生じたのでお知らせします。

また、平成21年2月12日に公表しました平成21年3月期通期の業績予想及び配当予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成21年3月期第4四半期における有価証券評価損

	単体	連結
(A)平成21年3月期第4四半期会計期間(平成21年1月1日から平成21年3月31日まで)の有価証券評価損の総額(=イ-ロ)	14,049百万円	14,045百万円
(イ)平成21年3月期(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)の有価証券評価損の総額	24,993百万円	25,021百万円
(ロ)直前四半期(平成21年3月期第3四半期)累計期間(平成20年4月1日から平成20年12月31日まで)の有価証券評価損の総額	10,944百万円	10,976百万円

四半期における有価証券の評価方法は、第1四半期から第3四半期は洗替え方式、第4四半期は切放し方式を採用しております。  
 当行の決算期末は、3月31日です。

純資産額・経常利益額・当期純利益額に対する割合

	単体	連結
(B)平成20年3月期末の純資産額	67,527百万円	69,365百万円
(A/B×100)	20.8%	20.2%
(イ/B×100)	37.0%	36.0%
(C)平成20年3月期の経常利益額	2,191百万円	2,312百万円
(A/C×100)	641.2%	607.4%
(イ/C×100)	1,140.7%	1,082.2%
(D)平成20年3月期の当期純利益額	1,031百万円	1,057百万円
(A/D×100)	1,362.6%	1,328.7%
(イ/D×100)	2,424.1%	2,367.1%

## 2. 平成 21 年 3 月期通期業績予想の修正

### ( 1 ) 平成 21 年 3 月期通期の業績予想数値の修正

単体		( 単位：百万円 )		
	経常収益	経常利益	当期純利益	
前回発表予想 (A)	39,500	14,200	9,500	
今回修正予想 (B)	40,100	29,500	27,500	
増減額 (B-A)	600	15,300	18,000	
増減率 (%)	1.5%	107.7%	189.5%	
ご参考 前期実績 (平成 20 年 3 月期)	45,393	2,191	1,031	

連結		( 単位：百万円 )		
	経常収益	経常利益	当期純利益	
前回発表予想 (A)	47,600	14,000	9,470	
今回修正予想 (B)	48,200	29,300	27,470	
増減額 (B-A)	600	15,300	18,000	
増減率 (%)	1.3%	109.3%	190.1%	
ご参考 前期実績 (平成 20 年 3 月期)	53,799	2,312	1,057	

### ( 2 ) 修正の理由

世界的な金融資本市場の混乱の拡大に伴う保有有価証券の減損処理の増加を主因として、経常利益、当期純利益ともに前回予想を下回る見込みとなりました。減損処理につきましては、平成 21 年 4 月以降の相場下落リスクに対する懸念を払拭するため、30%以上下落した有価証券のほとんどについて実施いたしました。なお、当期純利益につきましては、今後の厳しい経営環境を踏まえ繰延税金資産の計上を保守的に行ったことにより、経常利益に比べ減少幅が大きくなる見込みです。

また、自己資本比率は、単体で健全な銀行の基準である 4%(国内基準)を大きく上回る 7%以上を確保できる見込みであり、健全な経営体質を維持しております。

連結業績予想の修正については、個別業績予想の修正を主因とするものであります。

### 3. 期末配当予想の修正

#### (1) 配当予想の修正

基準日	1株当たり配当金(円)		
	中間期末	期末	年間
前回予想(平成21年2月12日)		2.50	5.00
今回修正予想		0.00	2.50
当期実績	2.50		
前期(平成20年3月期)実績	2.50	2.50	5.00

#### (2) 配当予想修正の理由

今回の業績予想の修正に伴い、単体で275億円の当期純損失を計上する見通しとなったことなどから、誠に遺憾ではございますが、平成21年3月期の期末配当は見送ることとさせていただきたいと存じます。

なお、平成21年3月期が赤字決算となることを踏まえて、本年1月より取締役及び執行役員の報酬を3%~10%カットしておりますが、今回更にカット幅を12%~30%へ拡大することといたしました。また、役員賞与は支給しないことといたします。

以上